

Town report

町 桑折西山城草刈りボランティアの宝を後世に引き継ぐために

「桑折西山城を守る会」主催の桑折西山城草刈りボランティアが6月10日、現地で行われました。当日は、桑折西山城を守る会や一般町民、町内企業、町職員など150人が参加。草刈機や手鎌などを使い、城跡や県天然記念物の万正寺の大カヤの環境美化活動を行いました。桑折西山城には、全国山城サミット桑折大会の開催やテレビ番組での紹介により、多くの人が訪れています。吉田良典会長は「町の大切な宝を守り、訪れる人を皆さんでお出迎えしましょう」とあいさつしました。(桑折西山城を守る会に興味のある人は、教育文化課 ☎582-2403まで)



▲来訪者にきれいな景色を見せようため、広大な城跡の草刈りを行う参加者

町 追分長寿会「花植えボランティア活動」の玄関に彩りを

追分長寿会による花植えボランティア活動が6月2日、JR 桑折駅前で行われました。

当日は悪天候に見舞われる中、参加した15人の会員の皆さんが協力し合いながら、花壇への花植え作業を行い、駅前を鮮やかに彩りました。追分長寿会の安藤重男会長は「あいにくの天候の中での作業だったが、来町される人々を心地よく迎え入れたいという思いで作業ができた」と話しました。マリーゴールドをはじめ、500本もの色とりどりの花が、駅利用者をお出迎えます。



▲花を植える会員の皆さん。駅前に足を運ぶ際は、ぜひご覧ください

地 消防団救助資機材搭載型消防車訓練 域を守る防災力を向上

町消防団本団主催の消防団救助資機材搭載型消防車訓練が5月28日、役場駐車場で行われました。伊達地方消防組合中央消防署救助隊員が講師を務め、消防団員約40人が、消防庁から貸与されている救助資機材搭載型消防車に搭載された資機材を使った訓練を実施。倒壊した建物や車両に閉じ込められた住民を救出する想定で、油圧式切断機を使った車両のこじ開け作業やエンジンカッター、チェーンソーによる切断作業に取り組み、さらなる技術向上を図りました。(消防団に興味がある人は、生活環境課 危機管理係 ☎582-2123まで)



▲油圧式切断機を使用し、車両からの救助訓練を行う団員

新 県消防協会伊達支部幹部大会 しい盛夏服に身をつつみ

第74回福島県消防協会伊達支部幹部大会が6月11日、伊達市ふるさと会館で行われました。

当日は、消防関係者・団体など約400人が参加。伊達支部管内市長・町長を代表して、高橋町長が歓迎のあいさつを述べました。また、消防活動に貢献した団員に対し各種表彰が行われ、7人の町消防団員が代表で表彰を受けました。団員らは、宝くじの助成金で整備した新しい盛夏服を着用し、消防団のイメージアップを図るとともに、町民の信頼に応えられるよう決意を新たにしました。



▲新しい盛夏服に身をつつみ、受賞者代表謝辞を述べる片平一夫第1分団長



▶(左から) 高橋町長、朽木さん、佐藤さん

大会での活躍に期待 激励金贈呈式

バウンドテニスの全国大会出場が決定した朽木二三夫さんと佐藤昭次さんへの激励金贈呈式が5月17日、役場で行われました。3月に開催された県大会で準優勝し、東京都で開かれる「第41回全日本バウンドテニス選手

権大会シニアの部・ダブルス」の出場権を得た2人。高橋町長は「町民が福島県の代表として、全国大会に出場されることはとても名誉なこと。持てる力を存分に発揮し、がんばってほしい」と激励しました。

生涯学習推進計画策定に向けて 住民の声を取り入れた計画に

第3次計画策定に向けた庁内勉強会と推進会議が5月29日、役場で行われました。アドバイザーの三瓶千香子教授(桜の聖母短期大学)を講師に、職員が「人生100年時代」における生涯学習の重要性について学びま

した。続いて、関係団体や有識者などで構成する推進会議では、町民アンケート調査結果や現状と課題について議論。今後、今年12月までに計画を策定する予定です。



▶地域づくりと生涯学習の関わりについて話す三瓶教授

広告

桑折町公式 LINE



広報こおり・お知らせ版など町の情報がスマホに届く!